



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月8日

上場会社名 株式会社イントランス 上場取引所 東
コード番号 3237 URL <http://www.intrance.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 何 同璽
問合せ先責任者 (役職名) 管理部 部長 (氏名) 北川 雅章 (TEL) 03-6803-8100
四半期報告書提出予定日 2023年11月8日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	747	157.3	1	—	△1	—	35	—
2023年3月期第2四半期	290	△86.1	△214	—	△208	—	△208	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 33百万円 (—%) 2023年3月期第2四半期 △212百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	0.97	—
2023年3月期第2四半期	△5.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	1,268	733	54.9
2023年3月期	1,181	692	56.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 696百万円 2023年3月期 663百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,712 ~3,275	186.3 ~447.6	△260 ~107	—	△279 ~31	—	△281 ~11	—	△7.60 ~0.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	37,131,000株	2023年3月期	37,131,000株
2024年3月期2Q	60,400株	2023年3月期	60,400株
2024年3月期2Q	37,070,600株	2023年3月期2Q	37,070,600株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、「添付資料」3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の法的位置付けが第5類へ移行し、経済活動の本格的な再開が加速したことに加えて、水際対策の緩和によるインバウンド需要の回復も消費の回復を後押しする結果となりました。その一方、世界的な金融引き締めによる影響や中国経済の先行き懸念、ウクライナ・ロシア情勢の長期化による地政学リスクに伴う原油等のエネルギー価格や原材料価格の高騰、大幅な円安等の為替変動の影響等により、個人消費や消費行動へ与える影響による先行き不透明な状況が続いております。

こうした中、当社グループが属する不動産業界では、資材価格高騰に伴う住宅価格の上昇や物価高による消費マインド低下などの影響はありますが、引き続き低水準にある資金調達コストを背景として投資家の投資意欲は旺盛であり、不動産市場は概ね堅調に推移しております。

また、当社が注力するホテル関連分野の市場におきましては、海外からの訪日観光客を中心として、観光需要の回復は鮮明となっており、レジャー目的を中心とした宿泊施設の需要回復は、今後も期待できるものと考えております。その一方、当社が注力する中国本土からの訪日観光客数は、未だ低水準に留まっております。一時は中国政府が日本への海外団体旅行を解禁したことで、訪日客増加が期待されましたが、福島第一原子力発電所の処理水の海洋放出開始に伴う中国の反発により、日本への旅行キャンセルが多く報じられており、日本国内で高まった中国からの観光需要拡大への過度な期待は収束しつつあります。

このような状況の下、当社グループでは、創業からの主事業であります「不動産事業」に加え、ホテル・宿泊施設等の運営、支援、開発等の事業を行う「ホテル運営事業」に軸足を置き、事業の整備と成長のための投資を進めてまいりました。

また、当社の連結子会社である株式会社大多喜ハーブガーデンを中心とし、ハーブガーデン施設の運営・卸売り販売を行う「ハーブガーデン運営事業」に注力してまいりましたが、2023年8月29日付「連結子会社の異動（株式譲渡）に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、連結子会社である株式会社大多喜ハーブガーデン及びハーブ生産出荷組合株式会社は、当第2四半期連結会計期間をもって、当社グループの連結対象から除外となりました。

その他、「その他事業」として、連結子会社である 瀛創（上海）商務咨询有限公司において国内インバウンド送客の準備、ジャパンホテルインベストメント株式会社においてホテル投資ファンドの組成・運営を準備し、それぞれ注力してまいりました。

この結果、売上高は747,055千円（前年同四半期比157.3%増）、営業利益は1,306千円（前年同四半期は営業損失214,224千円）、経常損失は1,060千円（前年同四半期は経常損失208,594千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は35,979千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する当期純損失208,714千円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、前連結会計年度より、従来「その他」に含まれていた「ハーブガーデン運営事業」について量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

（不動産事業）

不動産事業につきましては、当第2四半期連結累計期間において、主にプロパティマネジメントに注力しましたが、その他、販売用不動産の売却が一件成立し、売却額が収益に大きく寄与したことで、売上高は440,822千円（前年同四半期比256.3%増）、セグメント利益（営業利益）は219,188千円（前年同四半期比2,682.1%増）となりました。

（ホテル運営事業）

ホテル運営事業につきましては、自社ブランドやグローバルホテルブランドのホテル運営及び開発、並びにアドバイザーやサードパーティオペレーターとしての活動に注力しましたが、当社が注力する中国本土からの訪日観光客需要が回復に至っていないこと、そして新規ホテルの開業が遅れたことにより、売上高は202,700千円（前年同四半期比281.4%増）、セグメント損失（営業損失）は44,934千円（前年同四半期は77,728千円の営業損失）となりました。

（ハーブガーデン運営事業）

ハーブガーデン運営事業につきましては、連結子会社の大多喜ハーブガーデンが運営するハーブガーデンにおいて、ハーブ生産が増加したことにより卸売販売額は好調であったものの、ハーブガーデンのレストラン、ショップの来場者需要が、当第2四半期連結累計期間においては低調であったことにより、売上高は103,533千円（前年同四

半期比8.8%減)、セグメント損失(営業損失)は4,175千円(前年同四半期は2,659千円の営業損失)となりました。なお、ハーブガーデン運営事業は、当第2四半期連結会計期間をもって、当社グループの事業報告セグメントより除外されます。

(その他)

その他事業につきましては、中国からの国内インバウンド送客を担う連結子会社の瀛創(上海)商務咨询有限公司における国内インバウンド送客事業、及びジャパンホテルインベストメント株式会社におけるホテル投資ファンドのいずれも事業準備中であるため経費のみが発生し、前第2四半期連結累計期間、当第2四半期連結累計期間ともに売上高はありませんでした。この結果、セグメント損失(営業損失)は16,225千円(前年同四半期は16,276千円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産は前連結会計年度末に比べ134,926千円増加し1,145,417千円となりました。これは主として、現金及び預金が354,593千円増加したこと等によるものです。固定資産は前連結会計年度末と比べ57,872千円減少し110,209千円となりました。これは主として、有形固定資産が59,861千円減少したこと等によるものです。繰延資産は、開業費が10,717千円増加し、13,156千円となりました。この結果、資産合計は前連結会計年度末と比べ87,770千円増加し、1,268,782千円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債につきましては、流動負債は前連結会計年度末と比べ30,359千円増加し209,486千円となりました。これは主として、その他流動負債が38,812千円増加したこと等によるものです。固定負債は前連結会計年度末に比べ16,632千円増加し325,811千円となりました。これは主として転換社債型新株予約権付社債が300,000千円増加したこと等によるものです。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ46,992千円増加し、535,298千円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ40,777千円増加し、733,484千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、株式会社大多喜ハーブガーデン及びハーブ生産出荷組合株式会社の連結除外に伴い、当社グループの2024年3月期の連結業績において、売上高は107,000千円の減少、営業利益は2,984千円の増加を見込んでおります。

しかしながら、その他の事業との関係もあるため、当社グループの2024年3月期の連結業績に与える影響は現在精査中であり、2023年5月12日の「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から現時点で変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	552,415	907,009
売掛金及び契約資産	48,543	54,563
販売用不動産	339,009	159,008
その他の棚卸資産	13,749	1,441
その他	60,611	23,755
貸倒引当金	△3,837	△361
流動資産合計	1,010,491	1,145,417
固定資産		
有形固定資産	75,684	15,822
無形固定資産	11,817	14,232
投資その他の資産		
投資その他の資産	228,580	150,154
貸倒引当金	△148,000	△70,000
投資その他の資産合計	80,580	80,154
固定資産合計	168,082	110,209
繰延資産	2,439	13,156
資産合計	1,181,012	1,268,782
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,995	—
1年内返済予定の長期借入金	45,195	32,120
賞与引当金	4,175	4,870
株主優待引当金	—	7,924
その他	125,760	164,572
流動負債合計	179,126	209,486
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	—	300,000
長期借入金	271,689	24,200
資産除去債務	30,245	—
その他	7,244	1,611
固定負債合計	309,178	325,811
負債合計	488,305	535,298
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,133,205	1,133,205
資本剰余金	903,204	903,204
利益剰余金	△1,366,614	△1,330,634
自己株式	△2,476	△2,476
株主資本合計	667,318	703,298
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△3,890	△6,348
その他の包括利益累計額合計	△3,890	△6,348
新株予約権	29,278	36,534
純資産合計	692,706	733,484
負債純資産合計	1,181,012	1,268,782

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	290,346	747,055
売上原価	146,408	310,476
売上総利益	143,938	436,579
販売費及び一般管理費	358,162	435,272
営業利益又は営業損失(△)	△214,224	1,306
営業外収益		
受取利息	6	4
受取遅延損害金	6,036	2,000
為替差益	6,025	2,734
その他	1,314	1,209
営業外収益合計	13,383	5,948
営業外費用		
支払利息	2,189	4,191
社債発行費	—	2,813
資金調達費用	72	—
開業費償却	5,304	877
その他	187	433
営業外費用合計	7,753	8,315
経常損失(△)	△208,594	△1,060
特別利益		
関係会社株式売却益	—	37,700
新株予約権戻入益	800	—
特別利益合計	800	37,700
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△207,794	36,639
法人税等	919	660
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△208,714	35,979
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△208,714	35,979

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△208,714	35,979
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△3,810	△2,458
その他の包括利益合計	△3,810	△2,458
四半期包括利益	△212,525	33,521
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△212,525	33,521
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△207,794	36,639
減価償却費	5,717	7,491
開業費償却額	5,304	877
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△37,700
新株予約権戻入益	△800	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△8,435	△79,786
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,397	694
株主優待引当金の増減額(△は減少)	—	7,924
受取利息及び受取配当金	△6	△4
支払利息	2,189	4,191
社債発行費	—	2,813
資金調達費用	72	—
売上債権の増減額(△は増加)	△11,372	△20,324
棚卸資産の増減額(△は増加)	4,323	179,931
その他の資産の増減額(△は増加)	△120,339	99,124
その他の負債の増減額(△は減少)	18,949	56,404
その他	△56	951
小計	△315,645	259,227
利息及び配当金の受取額	6	4
利息の支払額	△2,475	△4,261
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△35,864	14,760
営業活動によるキャッシュ・フロー	△353,979	269,730
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	100,000
有形固定資産の取得による支出	△44,908	△10,210
無形固定資産の取得による支出	△1,507	△2,990
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△26,777
開業費の支出	△57,919	△11,594
その他	△334	△1,930
投資活動によるキャッシュ・フロー	△104,670	46,497
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の発行による収入	—	297,186
長期借入金の返済による支出	△28,155	△162,788
リース債務の返済による支出	△413	△428
新株予約権の発行による収入	243	4,615
財務活動によるキャッシュ・フロー	△28,325	138,585
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,793	△220
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△485,181	454,593
現金及び現金同等物の期首残高	1,233,959	452,415
現金及び現金同等物の四半期末残高	748,777	907,009

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	計 (注)3
	不動産事業	ホテル運営事業	ハーブガーデン 運営事業	計			
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	113,783	53,147	113,476	280,407	—	—	280,407
その他の収益	9,939	—	—	9,939	—	—	9,939
外部顧客への売上高	123,722	53,147	113,476	290,346	—	—	290,346
セグメント利益又は 損失(△)	7,878	△77,728	△2,659	△72,509	△16,276	△125,438	△214,224

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に上海における国内インバウンド送客事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、報告セグメントに帰属しない本社の費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	計 (注)3
	不動産事業	ホテル運営事業	ハーブガーデン 運営事業	計			
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	422,266	202,700	103,533	728,500	—	—	728,500
その他の収益	18,555	—	—	18,555	—	—	18,555
外部顧客への売上高	440,822	202,700	103,533	747,055	—	—	747,055
セグメント利益又は 損失(△)	219,188	△44,934	△4,175	170,079	△16,225	△152,547	1,306

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に上海における国内インバウンド送客事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、報告セグメントに帰属しない本社の費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 「ハーブガーデン運営事業」セグメントに分類しておりました株式会社大多喜ハーブガーデン及びハーブ生産出荷組合株式会社については、第2四半期連結会計期間において株式会社大多喜ハーブガーデンの全株式を譲渡したため、連結の範囲から除外しております。同社の売上高、セグメント損失の金額については、連結除外日までの実績を含んでおります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、従来「その他」に含まれていた「ハーブガーデン運営事業」について量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントにより作成しており、前連結会計年度に開示した第2四半期連結累計期間に係る報告セグメントとの間に相違が見られます。